～宿場町・練馬北町のお宝を探しに出かけよう！～

きたまち謎ときタイムスリップ

謎をすべて解いて、LINEで豪華景品に応募しよう！！

STORY

来年から小学生になるみのりは、おばばと電車の見える公園で遊んでいた。
おばば「みのりちゃん、そろそろ時間だから帰ろう～」
街は夕焼けで赤く染まっている。
みのり「え～、もう少し遊びたい！」
カンカンカンカン。踏切が鳴った。
すると突然、青い目の黒猫が現れた。
電車が大きな音を立てて向かってくる。銀色の車体に夕日が反射し、まぶしさでみのりとおばばは思わず目をつぶった。電車が通り過ぎて2人が目を開けると、横にいたはずのお互いの姿はなく、見慣れない風景が広がっていた。
突然、江戸時代と昭和時代にタイムスリップしてしまったみのりとおばば。
2人が現代に戻るには、黒猫が導く謎を解く必要があるようだ。

2つのコースの謎を解いたら、「最後の謎」に進みましょう。
※どちらのコースからでも大丈夫！好きな問題から始めましょう。

まずはストーリーを読もう！

HOW TO あそびかた PLAY

STEP 1 地図の1～6の場所に行って謎を解き、こたえを書き込みましょう。6つの謎を解くと、「最後の場所」が分かります。

STEP 2 こたえがわからないときは、しもねり・かわら版LINE公式アカウントをともだち追加して「謎1」（わからない謎の番号）と、送信しましょう。ヒントが送られてきます。

しもねり・かわら版 LINE公式アカウント
ID:@172vcbwj

注意事項

- 交通ルールを守り、怪我や事故のないよう、十分にお気をつけください。
- 体調管理に十分注意したうえでご参加ください。
- 謎のこたえをSNSなどで公開したり、大声で叫ばないでください。
- 謎解き参加中の事故や怪我、器物破損などで発生した損害について主催者は如何なる責任も負いかねますのでご注意ください。
- 設置物へのいたずらや危険な場所・立入禁止の場所への進入、ほかの人の迷惑になる場所で立ち止まったり座り込んでの謎解きはしないでください。

昭和レトロ街ぶらコース

おばばは、昭和時代にタイムスリップしてしまった！
懐かしい風景の中、黒猫の姿が目に入る。追いかけていくと、3つの謎が現れた。

北町にある昭和の香りが漂うスポットをめぐり、1～3の謎を解こう！

1

地図上の🐾に行って、下の図の場所を探し、雀（すずめ）の横に書かれた花の名前を答えよ。

こたえ [ ][ ][ ][6]

北町アーケード 住所:北町2-17
昭和50年頃に誕生した、70メートル弱のL字型のアーケード街。現在は、店舗の大半がスナックや居酒屋で、昭和時代で時が止まったかのようなディープな雰囲気が漂っています。足を踏み入れるのにちょっと勇気がいる感じですが、決して危険地帯ではありません。ドラマのロケ地として利用され、有名女優や変身前の戦隊ヒーローが撮影で来たことも。レトロ好きな方には、たまらない魅力がある場所となっています。

2

地図上の🐾に行って、下の絵を探し、①～③の合計が示すひらがなを答えよ。

大 ①
中 ②
小 ③

0	1	2	3	4	5	6	7	8
や	た	る	せ	ね	ん	と	い	う

こたえ [4][ ][ ]

北町浴場 住所:北町2-28-13
営業時間:14時～22時（金曜定休）
昭和33年創業の、昔ながらの瓦屋根のある銭湯。井戸水を薪で沸かしています。銭湯といったら、富士山！全国に数名しかいない銭湯絵師の1人である中島盛夫氏(北町在住)が描いた富士山を眺めながら、ゆったりと温泉気分が味わえます。ジェットバス、バイブラ、薬湯、立ちシャワーを設置。コインランドリーが併設されています。無料の貸しタオルや、「タオル・石鹸・リンスinシャンプー」の3点が揃った手ぶらセット(100円)もあるので、ふらっと気軽に行くことが出来ますよ。

3

地図上の🐾に行って、向かい合う2匹のたぬきに囲まれた道にあるこの絵を探し、その下に書かれた4文字を答えよ。

こたえ [ ][ ][5][ ]

たぬき小路 住所:北町2-36周辺
この道行き止まり？大丈夫！行ける、行ける！
東武練馬駅近く、線路沿いにある商店、住宅が並ぶコの字型の一角「たぬき小路」。昭和30年代、この地は大きな味噌樽を持つ「三信味噌（さんしんみそ）」の工場で、庭には季節を彩るお花畑があったそうです。駅前開発とともに今の形の分譲地となり当時はたくさんの商店で賑わったとのこと。目印のたぬきさんのゲートが小さな小さな踏切の安全を見守ってくれています。地元阿波踊り連「練馬北町ぽんぽこ連」の名もここに由来しているそうです。

MAP

おすすめSPOT

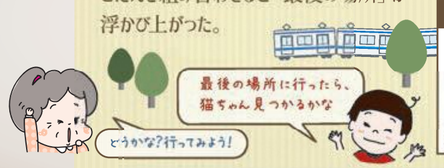
昭和SPOT
- ア 喫茶ボタン
- イ 北町楽天地

江戸SPOT
- ウ 大山道道標（おおやまみち）
- エ 北町弁天宮
- オ 阿弥陀堂
- カ 北町浅間神社・富士塚

それぞれのスポットの説明は、こちらニャ！

最後の謎

カンカンカンカン。
辺りは夕暮れ、いつものように電車が横切る。2人はそれぞれ3つの謎を解き、電車の見える公園に戻ってきた。2人が解いたこたえを組み合わせると「最後の場所」が浮かび上がった。



最後の場所
数字の順に文字を読み、その場所へ向かえ。
[1][2][3][4][5][6]

最後のキーワード
最後の場所に行って、キーワードを探そう。
最後のキーワード：[ ][ ][ ][ ]
最後のキーワードをしもねり・かわら版のLINEのトークルームに送信しよう！物語のエピローグが読める＆豪華景品が当たるチャンス!!

HINT! 「最後の場所」「最後のキーワード」としもねり・かわら版 LINE公式アカウントに送信すると、それぞれのヒントが送られてきます。

PRESENT!

「最後のキーワード」を送って 豪華景品をGETしよう！

豪華！「あまいけ」の国産和牛すき焼き用お肉（400g）が抽選で20名様に当たります。

応募期間	2020年10月25日～12月25日	商品引換期間	2021年1月15日～31日
応募方法	【最後のキーワード】をしもねり・かわら版のLINEのトークルームに送信▶その場で結果がわかります!!	商品引換場所	肉のあまいけ（北町1-35-4）

参加賞を北町のお店で交換しよう！

6つの謎のこたえをかわら版に記入して、
右記のお店で提示すると参加賞が貰えます！！

参加賞	東京トロフィー特製アマビエキーホルダー
引換期間	2020年10月26日～12月25日
引換場所	東京トロフィー（北町2-30-19）受付時間：10時～17時（日曜定休） ハーモニー北町（北町2-17-16）受付時間：10時～15時（土・日曜定休）

参加賞交換スタンプ欄

※アマビエキーホルダーは、なくなり次第終了です。
※必ず6つの謎のこたえを記入したしもねり・かわら版をお持ちください。こたえを記入したかわら版1枚につき、アマビエキーホルダーを1個お渡しします。

江戸史跡めぐりコース

みのりは、江戸時代にタイムスリップしてしまった！
見慣れない景色の中、黒猫の姿が目に入る。追いかけていくと、3つの謎が現れた。

北町に多く残る江戸時代の史跡などをめぐり、4～6の謎を解こう！

4

地図上にある2か所の🐾に行き、『棚橋（たなはし）』・『下宿橋（しもしゅくばし）』と書かれた車止めの上で休んでいる生き物を探せ。下の表で、その生き物に囲まれている文字を読め。

亀	水	蟹	北	蝸牛
土	魚	銀	蚯蚓	木
蝶	東	蟹	月	瓢虫
火	蝸牛	日	蝶	明
兎	金	蝶	星	蛇

こたえ [1][ ]

棚橋（たなはし） 住所:北町1-10
棚橋は、富士大山道が田柄川と交差する場所に架かる橋でした。小さな滝があり川辺に降りる階段もあって、農民は川で大根などの野菜を洗っていたそうです。田柄川は現在、田柄川緑道として整備する際に暗渠（あんきょ）となり、棚橋は親柱（名前の書いてある石柱）2本のみが残されています。他にも、田柄川緑道を歩いていると、橋が架かっていた場所に表示板などが立っています。名前の由来を考えながらの散歩もおすすめです。

5

地図上の🐾にある立札（高札）（こうさつ）を読み、次の□にあてはまる文字を読め。

この辺りは下宿と呼ばれ、鍛冶屋、□□（染物）などがあり、江戸時代鷹狩りの餌となる「けら」を扱う「けらや」もありました。

地図の◆の場所にある古地図から、□□を探し、古地図上でその2件右にあるお店の屋号をひらがなで答えよ。

こたえ [3][ ][ ][ ]

野瀬商店と高札（こうさつ） 住所:北町1-4-15
江戸時代、武士以外は名字を名乗ることができませんでした。そこで商人や農家は、店名や商売品、場所や人物の特徴を使った「屋号」を付けて呼び合っていました。北町にも、家の角に大山道道標（現在は環八陸橋上に移動）があったので「お不動」、今でも花や植木を売っている「たね屋」など多くの「屋号」があります。現在の野瀬商店はお米屋さんですが、かつては染物屋で「紺屋」という屋号でした。屋号をヒントに江戸時代の街を想像してみてはいかがでしょうか。

6

地図上の🐾にある写真の石碑の中から○にあてはまる文字を探し、その文字が導く地名を答えよ。

①	②	③	④	⑤	⑥
ひらお	しらこ	おおい	あさか	にいざ	なかの

こたえ [ ][ ][2]

北町観音堂 住所:北町2-38
江戸時代、北町観音堂は旧川越街道から赤塚村へ向かう分岐道の目印となっていました。中には仁王像や馬頭観音像があり、その中でも、北町聖観音座像は天和2年（1682年）に作られた練馬区内最大の石仏です。台座には中野、大久保、白子、赤塚など川越街道沿いの29の地名が刻まれており、広い範囲の人々から信仰されていたことがうかがえます。江戸時代の人にとって観音堂がどのような存在だったのかを想像してみると興味深いです。